

科研費・創発事業による若手研究者の国際的・創発的研究等への支援



令和7年度補正予算額

433億円

現状・課題

- 我が国の研究力が相対的に低下傾向となっている中、若手研究者を中心とした国際頭脳循環の一層の強化、創発的研究への支援、研究時間の確保が急務である。このため、**科研費の拡充や創発事業の推進を通じて基礎研究の充実**を図り、**我が国の研究力強化を一層加速**する。

経済財政運営と改革の基本方針2025（令和7年6月13日閣議決定）

- ・研究時間の確保や生産性向上による基礎研究力の抜本的な強化に向け、（略）教育・研究・ガバナンスの一体改革を推進する。（略）科研費等の競争的研究費の充実を通じた研究力の一層の強化に取り組むべく、支援の在り方を検討する。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版（令和7年6月13日閣議決定）

- ・若手研究者を中心とした挑戦的・国際的・創発的研究への支援の積極的な拡充や、国際共同研究支援の拡充に取り組む。

統合イノベーション戦略2025（令和7年6月6日閣議決定）

- ・研究者が腰を据えて研究に打ち込めるグローバルスタンダードでの魅力ある研究環境を実現するため、研究時間の確保を始めとして研究環境の改善を進める。（略）既存の学問体系に捉われない研究テーマを後押しするため、科学研究費助成事業（以下「科研費」という。）等の競争的研究費を通じた研究力の一層の強化、科研費における国際性・若手研究者支援や創発的研究支援等を通じて研究環境改善を推進する。

事業内容

① 科研費 科学研究費助成事業 300億円

- 若手研究者を中心に、**国際共同研究を実施するための海外派遣や海外からの日本人研究者の受入を促進**し、**国際的な研究への支援を一層強化**する。
- 若手研究者が参画する研究種目やポスドク・博士課程学生等の雇用が可能な研究種目を対象に**基金化を拡大**することにより、研究費の柔軟な使用を可能とし、**若手研究者の研究時間を確保**する。

【事業スキーム】



② 創発的研究支援事業 133億円

- 独立前後の若手研究者を対象に、**年間700万円(平均) + 間接経費 × 7年間 (最長10年間)** の安定した研究資金を提供（3年分の延べ支援予定件数：1,500件程度）
- 研究環境改善を推進するとともに、研究者同士が相互触発する「融合の場」等を提供
- 更なる研究力強化のため、**新たに国際競争力や創発研究者の融合・流動性等を強化する取組**（創発研究者の国際共同研究やポスドク等の研究補助人件費の支援など）を実施

【事業スキーム】



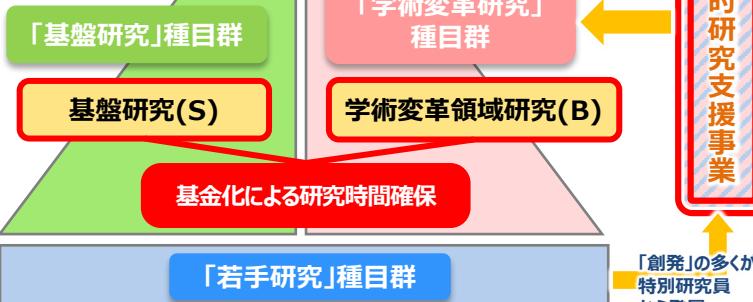
【科研費等の研究種目の構成】

国際的な研究への支援強化

国際先導研究 国際共同研究強化 帰国発展研究

「基盤研究」種目群

基盤研究(S)



期待される効果

- 若手研究者を中心とした、国際的な研究ネットワークへの参画促進により、**研究の国際競争力の向上につながる**とともに、基金化の拡大により、**研究時間の確保を推進**する。
- **破壊的イノベーションにつながる質の高い研究成果を創出し**、**我が国の研究力強化に資する**。

(担当：研究振興局学術研究推進課)